

授業参観・懇談会のご参加ありがとうございます



25日はお忙しい中、授業参観および学級懇談会にご参加いただき、誠にありがとうございました。多くの保護者のみなさまにご来校いただき、子どもたちはいつも以上に張り切って授業に取り組んでおりました。

保護者のみなさまの温かいまなざしが、子どもたちの励みとなり、これからの学びや学校生活への意欲につながっていきます。また、懇談会では、今後の学級づくりや学校の教育活動について、貴重なご意見やご感想をいただき、教職員一同、改めて身の引き締まる思いであります。



子どもたちは、教室に入ってこられるおうちの方の姿を見つけて、ちょっぴり緊張しながらも、どの子も真剣な表情で授業に臨んでいました。友達と意見を交わす姿、手を挙げて自分の考えを発表する姿、タブレットやノートを活用して集中する姿など、成長を感じる場面がたくさん見られました。参観後、「緊張したけど、がんばって発表できたよ!」「いつもよりドキドキしたけど楽しかった!」と話す子どもたちの笑顔が印象的でした。

今後も、子どもたち一人ひとりが主体的に学び、自分らしく力を発揮できる授業づくりを行い、さらに、ご家庭と学校とが連携しながら、子どもたちの成長を支えられるよう取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

校長 大村 千博

PTA 総会で学校長より話したかったつくば市教育大綱→グランドデザインについて

25日は PTA 総会の中で、学校長より保護者のみなさまに令和7年度並木小学校の教育活動について、詳しくお話するつもりでしたが、時間がとれなかったため、書面にて説明させていただきます。

【並木小学校はどんな学校?】

研究学園都市に立地 最先端の知に囲まれた学び舎

- ・つくば市=日本最大級の研究学園都市
- ・並木小学校はその中核に位置
- ・科学的な刺激にあふれる学び

自然に恵まれた学習環境 自然の息吹と共に育つ

- ・並木公園や緑豊かな住宅地に囲まれる
- ・四季折々の自然体験が可能
- ・心豊かな成長を支える環境

地域連携による安全・安心な生活 地域とともに守る子どもたちの笑顔

- ・地域・保護者によるボランティア活動
- ・防犯対策・交通安全教育の充実
- ・子どもたちの安心感を支えるあたたかな地域

【並木小学校が抱える課題】

「知」授業の受け身・振り返りの不足

- ・一部の子どもに学びの主体性が育っていない
- ・子ども間の学力格差が拡大 学びをもっと主体的に
- ・できていて当たり前という意識が強い
- ・すでに知識として持っているため学習前後の達成感や実感が薄い 振り返りで学びを深める興味関心をもたせる授業づくり

「徳」挑戦の意欲

- ・嫌なことに立ち向かえない傾向
- ・挑戦・粘り強さが不足 挑戦する心を育む

「体」体力低下とタフさの不足

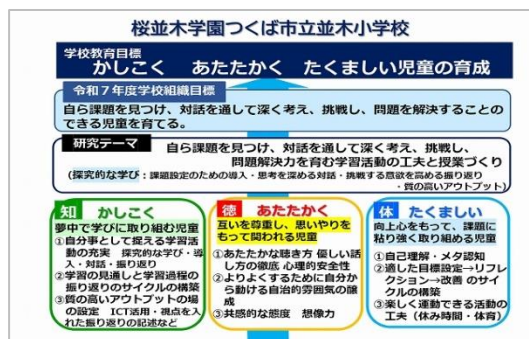
- ・体力テスト結果が全国平均以下 心も体もたくましく
- ・心身ともにタフさを育てる必要

並木小学校は周囲に、産総研や筑波大学など、日本を代表する研究機関が集まっており、子どもたちは常に最先端の科学や学問にふれられる環境にあります。また、並木公園など豊かな自然が広がり、この環境の中で、子どもたちは季節の移ろいを感じながら、心身ともに健やかに成長しています。さらに、保護者のみなさまが大変本校に協力的で、あたたかく、子どもたちを見守ってくださっています。保護者のみなさまや地域の方々による読み聞かせ、遊び、日本語サポート、カメ池清掃などさまざまなボランティア活動も熱心に行ってください、子どもたちは安心して毎日を過ごしています。防犯意識や交通安全教育にも力を入れており、地域とともに育つ学校を目指しています。

並木小学校が抱える課題の「知」の面では、一部の子どもの学びへの主体性を育てきれていない現状があり、学力格差も見られる状況です。学びが「できて当たり前」という意識をもっていたり、すでに知識として学ぶべきことをもっていたりするため、学習前後の達成感や実感がうすいことが課題です。「徳」の面では、困難

に直面した際に挑戦をあきらめてしまう傾向も見られます。よって、子どもたちに、挑戦し続ける力をもっと育てていく必要があります。「体」の面では、体力テストの結果が全国平均を下回る傾向にあり、心も体もたくましく育てる取組が必要です。

上記の課題を受け、右の令和7年度の並木小学校のグランドデザイン(上半分)を作成しました。



知 かしこく

夢中で学びに取り組む児童

- ①自分事として捉える学習活動の充実
探究的な学び・導入・対話・振り返り
- ②学習の見通しと学習過程の振り返りのサイクルの構築
- ③質の高いアウトプットの場の設定
ICT活用・視点を入れた振り返りの記述など

授業改善の推進・探究的学びの充実
・校内研修活性化

徳 あたたく

互いを尊重し、思いやりをもって関われる児童

- ①あたたかな聴き方 優しい話し方の徹底
心理的安全性
- ②よりよくするために自分から動ける
自治的雰囲気醸成
- ③共感的な態度 想像力

あたたかい学級づくり・対話
話し方と聞き方・自治的雰囲気

体 たくましい

向上心をもって、課題に粘り強く取り組める児童

- ①自己理解・メタ認知
- ②適した目標設定→リフレクション
→改善のサイクルの構築
- ③楽しく運動できる活動の工夫
(休み時間・体育)

目標設定とリフレクション文化・
運動機会の確保
非認知能力を高める支援

教職員は研修・研究を通して授業力・教員としての資質を向上をめざします！

研究テーマ

自ら課題を見つけ、対話を通して深く考え、挑戦し、問題解決力を育む学習活動の工夫と授業づくり
(探究的な学び：課題設定のための導入・思考を深める対話・挑戦する意欲を高める振り返り・質の高いアウトプット)

- ◆主体的に取り組む探究的な学び
- ◆一斉授業ではなく、子ども同士の対話中心授業
- ◆目標設定と振り返りを教育活動に多く取り入れます

具体的には、◆ 子どもたちが主体的に取り組む探究的な学びの充実、◆ 一斉授業ではなく、子ども同士の対話を中心とした授業への転換、◆ 教育活動全体における目標設定と振り返りの定着 を重点的に進めてまいります。

このような授業改善と教育活動の工夫を通して、子どもたち一人ひとりが、これからの社会をたくましく生き抜くために必要な資質・能力を育ていけるよう、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。今後とも、保護者のみなさまの温かいご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

「知」の課題に対して、様々な改善策を教職員で議論し、今年度重点的に行っていく項目を決め、チーム並木で取り組み始めています。具体的には、授業の相互参観を活性化し、探究的な学びを取り入れた授業へ転換を図っています。特に、課題設定のための導入の工夫や思考を深める対話等の研修を充実させ、子どもたちの探究心を刺激する(イキイキ・ワクワク)主体的になる授業展開に取り組んでいます。さらに、単元の最初と最後で変化を実感できるワークシートを導入し、子どもたち自身が成長を自覚できる学びへとつなげていく試みを始めています。

「徳」の課題に対して、「分からない」を言える雰囲気、互いを認め合う文化を、学級・学年全体で大切に育てていきます。また、あたたかな聴き方ややさしい話し方を目指し、話し方・聞き方の基本マナーを丁寧に指導し、対話を通じた相互理解を深めています。さらに、学校行事や係活動を通して、子どもたちが自己決定し、考え、行動していける力を自治的雰囲気の中で育てていきます。

「体」の課題に対して、授業だけでなく、行事や係活動でも目標設定と振り返りを徹底し、自己理解とメタ認知を進め、非認知能力である自己肯定感や目標に向かってやり抜こうとする力、子どもたちが挑戦し続けるエネルギーや力を育てることも目指しています。休み時間に積極的に体を動かす活動を推奨し、楽しく体力を高める取組を進めています。今年度は、4月の最初から、中休みや昼休みは子どもたちが運動場で何人もの先生方と思い切り遊ぶ姿が見られます。からだを思い切り動かしたり、楽しく遊んだりすることを通して、心と体を育てています。さらに、運動活動においても目標設定と振り返りを行い、粘り強く挑戦し続ける力の育成も行っています。

こうした教育活動をさらに推進していくためには、やはり、教育を担う教職員自身が、日々研修と研究に取り組み、授業力の向上と資質・能力の向上を図っていくことが不可欠です。そこで、並木小学校では、今年度、「自ら課題を見つけ、対話を通して深く考え、挑戦し、問題解決力を育む学習活動の工夫と授業づくり」を研究テーマに掲げ、教職員全員で組織的に研究に取り組んでいきます。